

efit+ for Nomad Ver.1.1.4.0 アップデート概要

2013年11月
株式会社 ニコン・トリンプル

本書では、efit+ for Nomad Ver.1.1.4.0 で、変更された機能の概要を説明します。

■ ソフトウェア構成表

◆efit+ for Nomad Ver.1.1.4.0 の製品構成は下記の通りです。

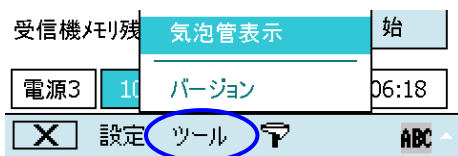
製品名	コード	備考	改良
efit+N 測量基本ソフト	B-E1-N00	基本キットに含まれます	
efit+N TS測量観測	B-E1-N50		
efit+N 測量計算	B-E1-N51		
efit+N 線形計算	B-E1-N52		
efit+N TS縦横断観測	B-E1-N53		
efit+N 平板観測	B-E1-N54		
efit+N TS法面・丁張	B-E1-N55		
efit+N RTK/DGPS観測	B-E1-N59		
efit+N 登記観測点検証	B-E1-N61		
efit+N GNSS静止/高速静止観測	B-E1-N01	基本キットに含まれます	Trimble R10 GNSS電子気泡管対応など

■ 電子気泡管の表示

GNSS 静止/高速静止

◆本バージョンより「Trimble R10 GNSS」に搭載されている電子気泡管が表示できるようになりました。

◆「静止測量」「高速静止測量」「キネマティック」で「Trimble R10 GNSS」が接続されると、ツールメニューに「気泡管表示」の項目が表示されます。



◆上記メニューから「気泡管表示」を選択すると「気泡管」画面が表示できます。内側の円が許容範囲となります。

【許容範囲内】



【許容範囲外】



【チルト調整が必要時】



【アンテナ高入力がない画面の場合】



※気泡管は、受信機の操作パネルを「手前」に向けた状態を想定していますので、気泡管を使用する場合は、受信機の操作パネルの向きに注意してください。



【許容範囲】


許容範囲の内側円は、アンテナ高と「電子気泡管設定」で設定されている「気泡管感度」と「チルト許容範囲」から計算して表示します。

アンテナ高の設定のない観測待機画面では、許容範囲を表示できません。

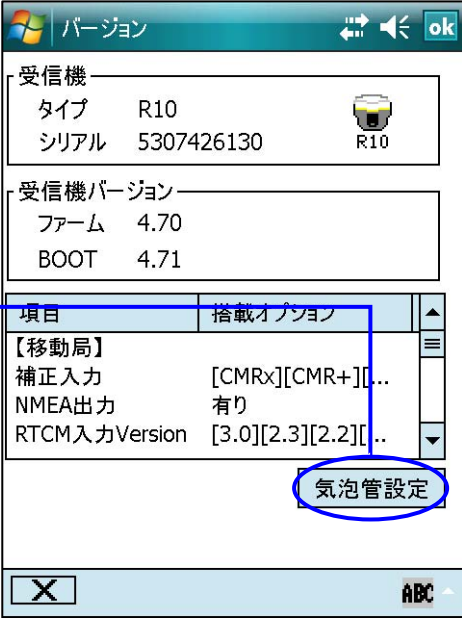
◆表示する電子気泡管の設定とチルトの調整が行えます。

※チルトの調整には有効期限が設けられていて有効期限を過ぎるとチルトの調整を行なわないと電子気泡管の利用はできません。

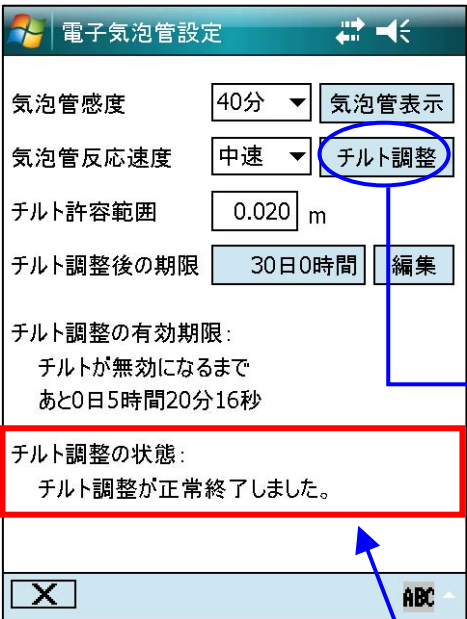
ツールメニューから「バージョン」を選択します。



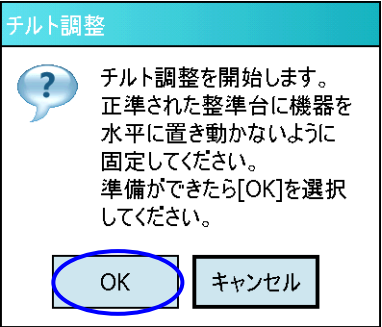
(受信機情報画面)



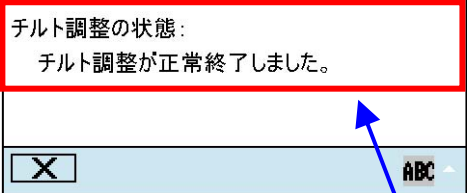
電子気泡管設定




チルト調整



チルト調整の状態:
チルト調整が正常終了しました。



チルト調整中



調整結果を「チルト調整の状態」に表示します。

【チルト調整】

チルト調整は必ず屋外で行なってください。

調整時に GNSS 衛星から時刻を取得していますので屋内で調整は行えません。

受信機を**水平な場所**に置き[OK]を選択すると調整を開始します。

以上